

催し物のご案内 (1999年1月～3月)

観察会・講座等

1. 室内実習「図鑑を作ろう—魚編—」
[博物館]
日時：1月17日(日)・24日(日)全2回
9:00～16:00
対象：18歳以上10名
募集：12月8日(火)～12月29日(火)
 2. 「博物館ボランティア体験講座」[博物館]
日時：2月2日(火)・3日(水)・5日(金)・
9日(火)・11日(木)全5回
10:00～15:00
対象：一般
体験分野・募集人員：岩石・古生物・植
物(各10名)地学・リモートセンシ
ング・哺乳類・昆虫・魚・貝類・キノコと
コケ・ライブラリー(各5名)
募集：12月29日(火)から1月19日(火)
 3. 野外観察「冬芽の観察」[博物館周辺]
日時：2月14日(日)10:00～15:00
対象：一般20名
募集：1月5日(火)から1月26日(火)
 4. 野外観察と室内実習「鉱物研究講座」
[博物館と千葉県銚南町安房勝山]
友の会との共催
日時：2月20日(土)・21日(日)全2回
10:00～15:00
対象：一般40名
費用：1,000円程度(交通費は除く)
募集：1月12日(火)から2月2日(火)
 5. 野外観察と室内実習「動物の行動観察」
[博物館と小田原城址公園]
日時：3月25日(木)・26日(金)全2
回10:00～15:00
対象：小中学生20名
募集：2月16日(火)から3月12日(土)
 6. 室内実習「博物館探検隊」[博物館]
日時：3月28日(日)10:00～15:00
対象：小中学生40名
募集：2月16日(火)から3月12日(土)
- 申し込み方法：**往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。
- 「身近な自然発見講座」**
毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料ですが、バス代・電車賃が必要なことがあります。事前の申し込みはいりません。当日、歩きやすい服装で、博物館正面玄関にお集まりください。雨天の時は中止します。持ちもの：筆記用具、ルーペ、昼食、水筒、雨具、双眼鏡など
1月20日(水)10:00～15:00
2月17日(水)10:00～15:00
3月17日(水)10:00～15:00

特別展・関連行事のご案内

「カニの姿—酒井コレクションから—」

平成11年1月30日(土)～3月31日(水)
＜開催中、3月22日を除く毎週月曜日と2月12日(金)・2月18日(木)は休館＞

酒井恒博士(元横浜国立大学教授)が分類学的研究のため収集した、カニ類、タラバガニ類の膨大なコレクションから、代表的な種類や、相模湾に生息する種類などを紹介します。また、博士夫妻の描いたカニ類のカラー細密画もあわせて紹介します。

観覧料：

20歳以上(学生を除く).....200円
20歳未満・学生.....100円
高校生以下・65歳以上.....無料

講演会

第1回 2月21日(日)13:30～15:00

「相模湾のカニと酒井恒博士」

講師：鈴木 博(横浜国立大学名誉教授)
日本の海洋生物学の発祥の地・相模湾を舞台にカニ類の分類学的研究を進めた酒井恒博士のカニにまつわるエピソードを紹介します。

第2回 3月21日(日)13:30～15:00

「高山から深海まで—カニのくらし」

講師：渡邊精一(東京水産大学教授)
陸地に生活するカニから、潜水艇でなければ調査できない深い海に生きるカニまで、様々なカニのくらしについて紹介します。

申し込み方法・申し込み期間

往復はがきに希望日、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、博物館企画普及課までお申し込みください。定員は70名です。

第1回：1月19日(火)～2月13日(土)
第2回：2月16日(火)～3月12日(土)

ライブラリー通信

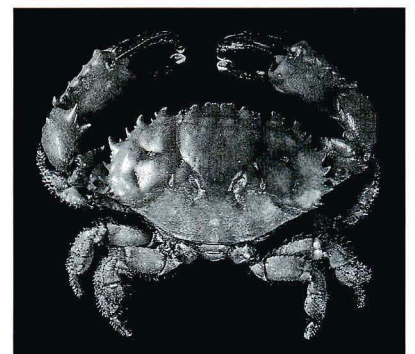
注目される企業博物館

先日、横浜市鶴見区に東京ガスの企業博物館「環境エネルギー館」がオープンしました。また、97年秋には大阪市で関西の企業博物館を中心にして「関西ミュージアム・メッセ'97」が開催されるなど、最近企業博物館が注目を集めています。

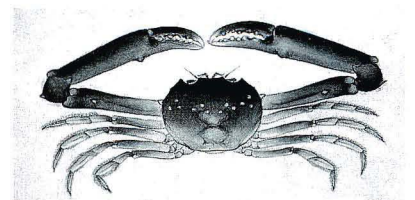
博物館というと、当館のように自治体が設置している公立博物館をまず連想しがちですが、法人等が運営する私立博物館も全国に多数設置されています。私立博物館の中でも企業が自社に関連した資料を保存・展示する目的で設置している施設が一般に企業博物館とよばれています。企業博物館の中には歴史の古いものもありますが、大半はここ20～30年の間に設立されたものが多いようです。現在、全国で330館ほどの企業博物館があるといわれています。

企業による博物館設立の動機には当然、自社の広報戦略等がありますが、近年の傾向としてはフィランソロピー(企業の社会的貢献活動)や、メセナ(文化擁護)の潮流が背景としてあるようです。神奈川県では企業博物館が集まって神奈川県企業博物館連絡会を結成して活動しています。

企業博物館は意外と身近な所にあつたりします。また、無料の施設も結構多いですので一度出かけてみたらどうでしょうか。面白い発見があるかもしれません。
＜参考文献＞ 当館ミュージアムライブラリーで閲覧できるものとして、『企業博物館事典』(日外アソシエーツ)、『企業博物館』(東京堂出版)、『企業ミュージアム』(ピーエーエヌ)、『日本の企業博物館』(電通)、『神奈川県企業博物館連絡会のあゆみ』などがあります。(司書・内田 潔)



オオアカヒツメガニ。標本、KPMNH0107932、
神奈川県立生命の星・地球博物館所蔵。



エンコウガニ。細密画。神奈川県立教育センター所蔵。